

# 令和4年度 松本市森林再生市民会議 第2回 運営委員会

## 次 第

日時：令和4年9月27日(19:00~21:00)

会場：松本市勤労者福祉センター3-1 会議室

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ
- 3 ビジョン受託業者紹介
- 4 会議事項
  - (1) ビジョンの位置づけについて
  - (2) ビジョンにむけて必要な検討事項
  - (3) イベントについて
    - ア 第1回 内容  
日程  
担当運営委員(3名程度)
    - イ 第2回 内容  
日程  
担当運営委員(3名程度)
- 5 その他
- 6 閉 会

### ※ 第1回運営委員会以降の資料

- (1) 松本市の森林基礎データ(R2 再生検討会議資料と市作成資料)
- (2) 森林環境課の業務内容(R3 市農政概要から抜粋)
- (3) Note「山・森・樹林!それぞれの人のそれぞれの森林」(清水副委員長)
- (4) 自己紹介と策定作業での関わり(株環境アセスメントセンター)資料1
- (5) 森林の多面的機能とビジョンの位置づけ(市)資料2
- (6) 松本市森林概況(樹種分布図)(清水副委員長)資料3
- (7) 「ビジョン」(仮称)にむけて必要な検討事項(三木委員長)資料4

# R4 市民会議スケジュール (案)

森林環境課 R4.9.27作成

		R4年度										備考
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
運営委員会 運営担当	委員打合せ調整 会場 進行		←○第1回→	←○第2回→		←○第3回→		←○第4回→				
イベント補助委託	委託発注 担当 チラシ・HP・PA-製作配布 広告ラジオSNS 会場設置補助					⇔	⇔	⇔	⇔	⇔	⇔	⇔
イベント① イベント② イベント③	運営委員打合せ調整 講師交渉 会場、資材調達、準備 参加者 募集とりまとめ				←○第1回→		←○第2回→		←○第3回→			
フォーラム	運営委員打合せ調整 講師交渉 会場、資材調達、準備 参加者 募集とりまとめ							←○第1回→	⇔	⇔	⇔	⇔
庁内												
議会		○6月議決 補正予算可決								○2月議会 ⇔		

# 松本市 森林長期ビジョン 自己紹介と策定作業での関わり

1

株式会社環境アセスメントセンター  
北信越支社

## 会社紹介

2

- 株式会社 環境アセスメントセンター  
北信越支社 （安曇野市豊科高家）  
※支社スタッフ20名 本社は静岡

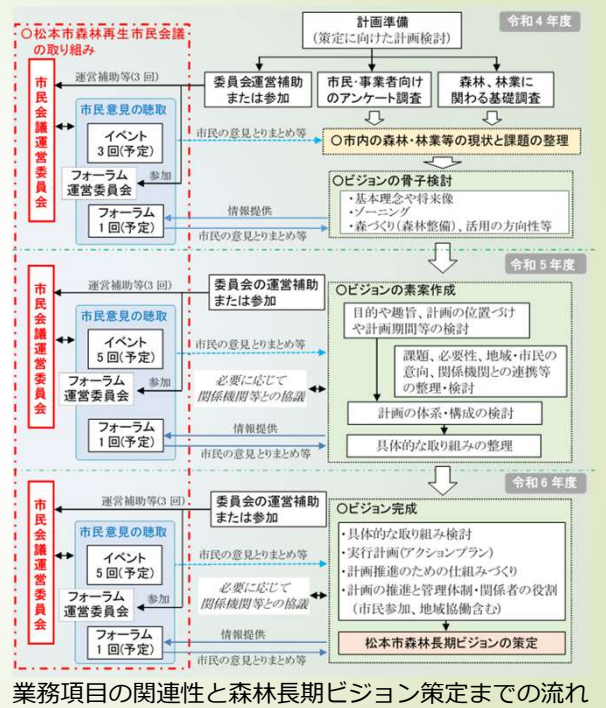
### 主な業務内容

- 環境アセスメント（調査、解析、予測・評価、とりまとめ）
- 動植物・生態系調査（植物、動物、生態系、外来種、鳥獣害）
- 生活環境調査（大気、水質、騒音・振動・交通量調査、日照阻害予測）
- 地域環境計画（環境基本計画、地球温暖化対策実行計画、気候変動適応計画、一般廃棄物処理基本計画、生物多様性地域戦略）
- 環境教育（自然観察会、編集・出版、講師派遣、講演会）



### 3 業務項目

- ①森林・林業に関わる基礎調査
- ②市民・事業者向けアンケート
- ③市民会議運営委員会の運営補助
- ④イベント・フォーラム意見のとりまとめ
- ⑤森林長期ビジョンの策定



### 4

## ① 森林・林業に関わる基礎調査

### 内容

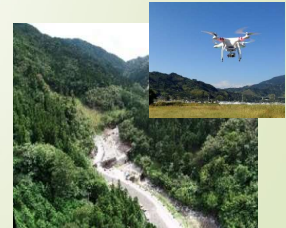
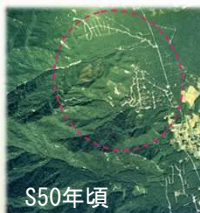
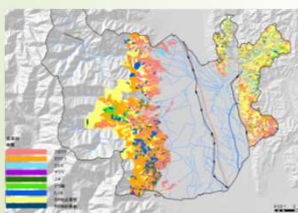
- 松本市の森林・林業に関わる情報収集整理

### 留意点

- 地区毎（松本・四賀・安曇・奈川・梓川・波田）に特性整理
- 位置情報（植生、林齢、土地利用等）のGISによる一括管理・活用
- 関連写真の収集整理、今後のモニタリングも見据えた写真撮影

### 整理する項目

- ・ 森林面積
- ・ 所有形態
- ・ 樹種、林齢
- ・ 木材や里山の利活用の現状
- ・ 他地域における参考となる取り組みの情報 など



5

## ② 市民・事業者向けアンケート調査

### 内容

- ▶ 市民・事業者の森林保全や里山の利活用等に関わる現状や課題認識、要望等の確認

### 留意点

- ▶ 目的や活用イメージを明確にした設問設定
- ▶ 意識啓発での活用の想定

#### 市民アンケート

森林や林業への関心度等に関わらず、広く市民意向等を把握

#### 関連事業者アンケート

森林や林業関係者の実務的な現状や課題点を把握

○市民向けの普及啓発、市民協働にむけた現状と課題整理

○具体的な施策やその展開にむけた課題・提案等の整理

#### 【市民向けアンケート】

- ・市民2,000名程度
- ・地区別、森林所有者？

#### 【事業者向けアンケート】

- ・事業者200社程度
- ・森林に関する関連事業社やNPO法人等から無作為に抽出

#### 【想定される設問内容案(市民)】

- ・市内の森林に対するイメージ
- ・市内の森林、木材活用への関心度
- ・市内の森林の課題への理解度
- ・森林整備への関心度
- ・森林の活用に期待すること 等

6

## ③ 市民会議運営委員会の運営補助

### 内容

- ▶ 事務局のサポート（当日の会場設営、開催状況の記録や議事録の作成）
- ▶ 会議内容や市民意見等のビジョンへの反映

### 留意点

- ▶ 情報収集結果、アンケート集計結果など必要な会議資料の整理
- ▶ 事務局との課題や作業工程の情報共有（月1回程度）



委員会イメージ



会議資料例

7

## ④ イベント・フォーラム意見とりまとめ

### 内容

- イベント、フォーラムにおける参加者からの意見聴取の支援、意見のとりまとめ、開催状況の記録（写真撮影等）
- 事前に行われるイベント、フォーラム運営委員の打合わせにも参加



イベントイメージ

### 留意点

- 意見聴取の支援（イベントの内容や委員の方針に基づいて、アンケートの準備や資料の準備）
- 参加者意見の会議等へのフィードバック（随時）
- 開催概要の整理と広報用資料のとりまとめ

8

## ⑤ 松本市森林長期ビジョンの策定

### 内容

- 情報整理、アンケート結果、イベントやフォーラムや委員会での意見、提言書等の内容を踏まえた森林長期ビジョン案の策定
- 市民意識啓発や地域協働を念頭に置いた施策等の検討

### 留意点

- 関連計画等との整合性の確認
- 地区毎の将来像等の整理
- 市民等と森林の関わりの再構築をめざした重点プロジェクトの設定
- 課題や今後の目指す姿などを分かりやすく示したイメージ図の作成

### 【ビジョンの構成案】

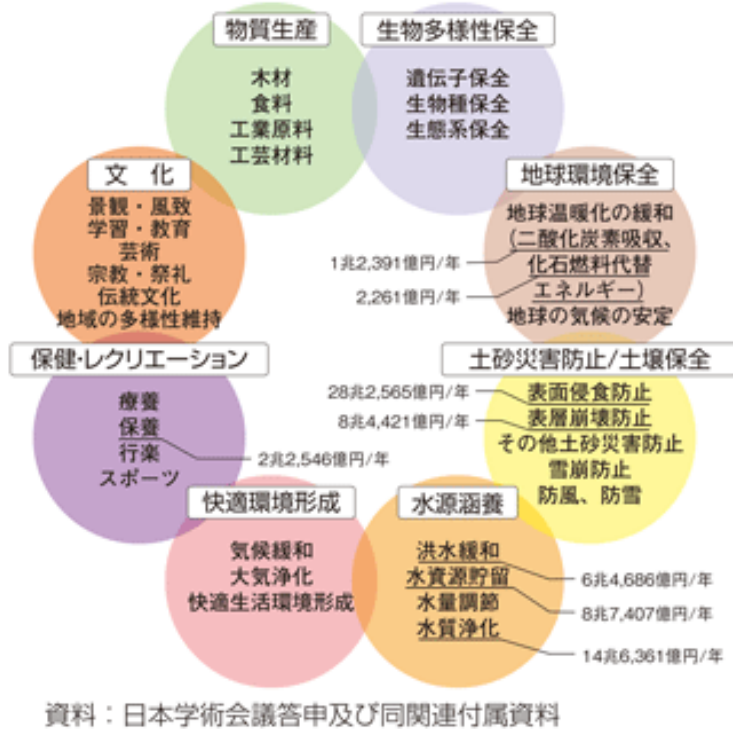
- ・策定の目的、趣旨
- ・松本市の森林や林業の現状
- ・松本市の森林や林業の将来像
- ・森林経営や管理の方向と役割
- ・ビジョン策定の経過
- ・関連資料



森林の将来イメージ図例

# ■ 森林に求められる多面的な機能

## 森林の有する多面的機能



森林の整備・管理にあたり、市民の意見を踏まえた長期的な視点での方向性を整理・示しておくことが必要  
(松本市長期森林ビジョン)



## 我が国の森林の循環利用とSDGsとの関係

- 森林そのものが様々なSDGsに貢献。さらに森林資源・森林空間の利用を通じ、様々なSDGsに貢献。
- これらの利用は、林業・木材産業を通じ、森林の整備・保全に還元されるという大きな循環につながっている。



注1：アイコンの下の文言は、期待される主な効果等を記載したものであり、各ゴールの解説ではない。  
 注2：このほか、ゴール1は森林に依存する人々の極度の貧困の撲滅、ゴール10は森林を利用する権利の保障、ゴール16は持続可能な森林経営を実施するためのガバナンスの枠組みの促進等に関連する。ここに記載していない効果も含め、更にSDGsへの寄与が広がることが期待される。

# ■松本市森林長期ビジョン

## 市民会議

市民との交流・市民への周知を経てビジョンを検討

### ■市民意見の収集

- ⇒イベント
- ⇒フォーラム
- ⇒アンケート

■市民意見を踏まえたビジョン検討の中心組織  
⇒市民会議運営委員会

## 松本市森林長期ビジョン

松本市の市民の意向を踏まえた「50年先の松本市の森林のあり方」を検討・整理したもの

- ・策定の目的・趣旨
- ・松本市の森林や林業の現状
- ・松本市の森林や林業の目指すべき将来像
- ・将来像に向けた取組方針  
※森林経営や管理の方向と役割
- ・ビジョン策定の経過、関連資料

## 関連計画への反映

- ・総合計画
- ・森林整備計画
- ・緑の基本計画
- ・環境基本計画
- ・景観計画

実行

## 現状の関連計画の方針・内容の反映・整合性確認

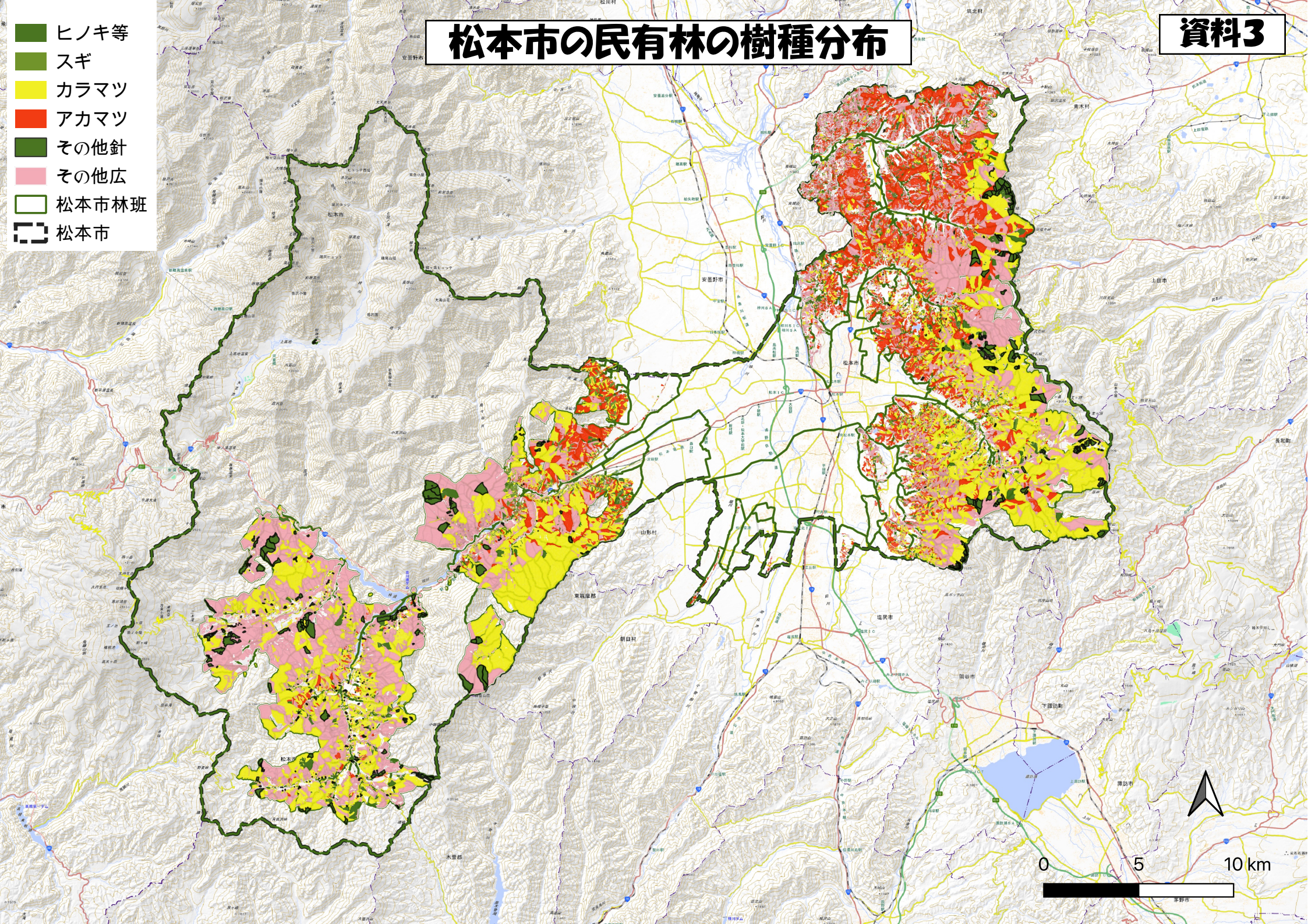
※森林の多面的機能を踏まえ、多くの計画等で森林のあり方や管理方法が現状で示されている。



# 松本市の民有林の樹種分布

資料3

- ヒノキ等
- スギ
- カラマツ
- アカマツ
- その他針
- その他広
- 松本市林班
- 松本市



「ビジョン」（仮称）にむけて必要な検討事項

三木敦朗

私たちが中長期的な「ビジョン」（仮称）を作成するにあたって、“少なくともこのような検討は必要ではないか”と考えるものを挙げます。これは私案です。会議の中で追加・削除してください。

● 検討したい主なことから

- ・松本市「まつもとゼロカーボン実現計画」（2022年8月）では、2050年のCO<sub>2</sub>排出実質ゼロの実現のために、2030年までに木質バイオマスエネルギーの利用、環境教育の推進、「脱炭素型まちづくり」などに取り組むと計画しています。市（市役所）でも、木質チップボイラーの導入をする計画です（「松本市役所ゼロカーボン実現プラン」）。

【2030年度までの達成を目指す重点施策】

1 再生可能エネルギーの利用促進と地産地消の実現	2 省エネルギー対策の強化と学びの推進	3 脱炭素に寄与する社会基盤の構築
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 民間事業者への再生可能エネルギーの普及支援</li> <li>✓ 再生可能エネルギービジネスの事業化支援</li> <li>✓ 地域新電力の設立など地域エネルギー供給事業の具体化</li> <li>✓ 仮想発電所（VPP）の導入に向けた検討</li> <li>✓ 地域内エネルギー供給システムの実現</li> <li>✓ 再生可能エネルギーの電力系統接続に関する課題解決の検討</li> <li>✓ PPA（電力販売契約）モデルによる太陽光発電設備や蓄電池設備の導入促進</li> <li>✓ 住宅への再生可能エネルギーの導入に対する補助の推進</li> <li>✓ 小水力発電の普及促進</li> <li>✓ バイオマスガス化発電及び熱利用の事業化の促進</li> <li>✓ 木質バイオマスの熱利用の拡大と燃料の安定供給</li> <li>✓ 地熱・バイナリー発電の事業化支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 事業の新たな「省エネルギービジネス」の展開を目指した支援</li> <li>✓ 事業所の建築物における省エネ化の促進</li> <li>✓ 住宅の高断熱化</li> <li>✓ 高効率設備及び HEMS 等の普及促進</li> <li>✓ 非化石証書の事業化</li> <li>✓ 若者と共に学びあう環境学習の推進</li> <li>✓ 各種関係機関・団体と協力の周知啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 脱炭素型モデル地区の実現</li> <li>✓ 公設民営体制の構築及び路線バス等の運行・再編事業</li> <li>✓ 電気自動車（EV）の普及促進</li> <li>✓ 家庭ごみ・生ごみ等の減量推進</li> <li>✓ プラスチックごみの減量推進</li> <li>✓ 食品ロス削減の推進</li> </ul>

「まつもとゼロカーボン実現計画（概要版）」

- ・気候危機は市民が直面する問題ですし、その緩和に森林資源は不可欠なので、「ゼロカーボンシティ」の実現を一つの軸に整理してみたらよいと思います。松本市が、「周囲の森林を利用して生活する中核市」のモデルとしてどういうことができるか。そのときの市民生活のイメージはどういうものでしょうか。
  - ① 木質バイオマス利用（熱利用など）や、建物の高断熱化とあわせた木質化の推進
  - ② それらの安定的な供給
  - ③ 「グリーンインフラ」としての森林などのイメージをふくらませたいところです。

・文章にしづらいところは、写真やイメージ図にするという方法もあります。



住宅の木質化



公共施設の木質化  
(竜島温泉せせらぎの湯チップボイラー)



森林と市民生活・次世代への引き継ぎ



市民が利用できる森林空間（フットパス）

## ● 調べること・考えること

「ビジョン」を作成する上で、調べたり考えたりする必要があることを、少し細かく書き出してみました（順不同）。

### 1. 「ビジョン」の受け手への、市民会議としてのメッセージ

「ビジョン」は、松本市民、とくにこれからの市を担っていく世代（「ビジョン」のゴールを見られる世代）に読んでもらう必要があります。そこに届くメッセージがほしい。

### 2. 森林と市民との関係の、各地区ごとの歴史と現状・課題

次の世代に引き継いでもらいたい、松本市の市民と森林との関わり。木材やマツタケのよ

うな物質的関わりに加えて、牛伏寺の歴史的な治山事業などを通じた生活の安全、森林・公園による緑ゆたかな岳都としてのイメージの確立なども含めた、市民と森林との関係性（と問題点）について、会議メンバーが学んだ結果を書きたいです。

松本市の森林の現状については、松本市森林整備計画にデータが網羅されています。

課題については、次の項目についてまとめる必要があると思います。この中には、改めて調査して書くものもあるでしょう。

- ・森林の状態（健全性）。間伐などの手入れの進み具合、松枯れなどの病虫害、鳥獣害の状況。かつて災害を受けた森林の回復状況、これから災害を受ける懸念のある場所（河畔や道沿いで自然災害を拡大しかねない森林など）。文化的景観の一部として、とくに保護の必要がある森林（森林法上の「森林」だけでなく、市民が森林だと思っているものも含む）。
- ・林業の状態。森林所有者。林業就労者と林業事業体。木材と特用林産物の生産の状況。あわせて、これらの活動のために必要な道（路網）の状況。
- ・林産物（木材と特用林産物）の利用の状況。市内での木材利用。とくに、公共建築物への木材利用と木質化（木質バイオマスエネルギーの導入など）。木質バイオマスエネルギーの民間需要の状況。
- ・市民の活動の状況。森林ボランティア団体の状況。森林・森林内施設のレクリエーション的利用。森林を利用したい市民の潜在的ニーズ、その阻害要因。

### 3. 他分野での先行する諸計画と、そこから求められること（「ビジョン」が整合する必要があるもの）

森林は、「ゼロカーボンシティ」のほか、災害防止や観光、生物多様性の保全とも関わりが深い。それに応える森林とは、どのようなものか。

### 4. 森林と市民との、これからの関係性

松本市での市民の生活と森林との関係性を、これからどのようなものにしていきたいか（していけるか）を書きます。産業の場としての要素も欠かせません。

### 5. 上記3・4からみちびかれる、森林・林業の基本的な将来像

ここは具体的な目標やゾーニングです。たとえば次のような項目です。

- ・脱炭素社会、市民と森林との直接的関係に関すること……「ゼロカーボンシティ」の実現・木質バイオマス利用、公共建築物の木質化、木育や森林環境教育、身近な森林の恵みを活用する環境づくり・里山林整備・市民が利用しやすい森林づくり、森林空間を活用した観光的利用、人材育成（市民、ボランティア団体、行政、専門家）、など。
- ・森林の生物多様性に関すること……生物多様性の保全、松枯れ対策（病虫害）の見直しと次世代の森林像、鳥獣害対策、景観・風致の維持向上、など。

- ・その他の多面的機能に関すること……防災機能の強化・温暖化のもとでの災害に備える森林づくり、水源の涵養、多面的機能の発揮、など。

森林の管理・利用にむけての事項も必要です。

- ・林業の担い手に関すること……林業従事者の維持・確保と労働環境の改善、林業事業者の基盤強化、木材・木質バイオマスの地域内利用と広域流通、など。
- ・森林管理の基盤に関すること……林内路網の整備、森林の区分に応じた森林施業の方法、人工林として積極的に維持する森林については確実な再造林をする方策、森林所有者への対策（所有者不明、境界不明など）、森林のデータベースと市民への公開、など。

## 6. 市民が森林と関わり続ける（関わりたいときにそれが可能になる）ための仕組み

市内の森林を活かした生活・産業をつくるためには、次世代を育てる必要があります。これについては、特別の項目をおこしたいです。また、市民が関わりをもてる森林のエリアをどのように設けるかも考えておきたい。

## 7. 市民が松本市の森林施策に関与し続ける仕組み

「ビジョン」をつくって市民の関与は終わり、ではありません。2050年に「ゼロカーボン」を達成するまで（あるいはその後も）、継続して関わっていく仕組みをどのように作るか。

## 8. 調査データや詳細な情報

文章が長くなると読む人が少なくなるので、細かいデータや記述は付録にまとめたほうがよいでしょう。

「ゼロカーボン実現計画」は、木質バイオマスの利用や「森林吸収源」（間伐した森林）について書いているので、それに必要な森林がどのくらいか、技術的な計算はする必要があります。

